

エコアクション21

# 環境活動レポート

(2012年07月～2013年06月)

目次	環境方針	1
	会社概要	2～5
	環境目標とその実績・評価	6
	主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価及び	
	環境関連法規への違反・訴訟等の有無	9
	代表者による全体評価と見直しの結果	10

2013年9月20日作成

靖国紙料株式会社



# 環境方針

森林資源の保護と育成に寄与し、循環型社会形成の先駆けをいく古紙リサイクル業界において、靖国紙料株式会社では、古紙(製紙原料)の仕入・選別・圧縮・梱包及び販売、トイレトペーパー及びタオルペーパー等の紙製品の仕入・販売、産業廃棄物(廃プラスチック=RPF原料)の収集運搬ならびに金属くず等の計量業(大阪府公認)を通じて、常に下記のような観点から環境への影響を考慮し、環境への負荷の低減と汚染の予防を図ります。

1. エコアクション21をベースにして、環境にやさしい経営システムの構築・運営に取り組みます。  
また、仕入から販売までの全業務において、環境関連の法令・条例等を遵守します。  
さらに、近隣地域、関連業界および取引先等から寄せられる環境に関連した要請には真摯に対応し、環境活動の継続的改善に努めます。
2. 環境目標を設定し、目標達成のために環境活動計画を策定します。環境活動計画は、必要に応じて見直すことにより、環境方針に整合した活動を続けていきます。
  - ① 二酸化炭素の排出量を削減するために、電力、燃料の使用量の削減をより一層進める  
→地球温暖化の防止
  - ② 廃棄物の排出量を削減するために、古紙の徹底した分別と社内から出るごみの削減に努める  
→リサイクルの推進および森林資源の保護と育成
  - ③ 仕入から販売までの全業務において、水道水使用量を削減する  
→水資源の保全
  - ④ 正確な計量業務をおこなうために、計量機の点検を励行する  
→故障などの防止
  - ⑤ グリーン購入を進める  
→環境負荷の低減と資源・エネルギーの循環的利用
3. 全従業員に環境方針を周知します。そして、環境活動計画の進捗状況や環境目標の達成状況を、文書やホームページなどを用いて、全従業員だけでなく、近隣地域、関連業界および取引先等にも伝達します。

2008年10月 1日 制定  
2009年 7月 1日 改定  
2010年 8月28日 改定  
2011年 7月12日 改定  
2013年 8月26日 改定

靖国紙料株式会社  
代表取締役社長 竹内 庸二



# 会社概要

## 6. 環境管理責任者及び担当者連絡先

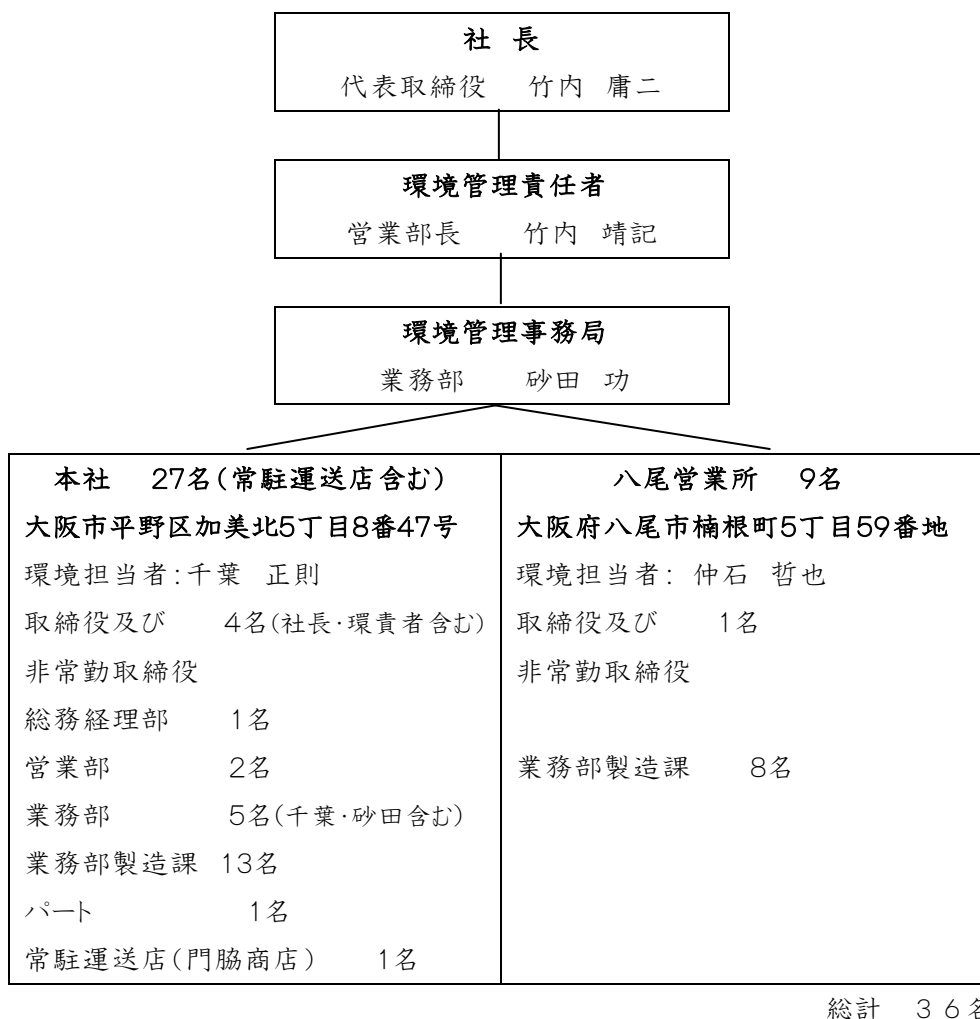
環境管理責任者 竹内靖記  
事務局 砂田功  
担当者(本社) 千葉正則  
担当者(八尾) 仲石哲也

※現状では、エコアクション21の取組範囲に八尾営業所は含まない。

連絡先 TEL 06-6792-5080  
FAX 06-6792-5085  
E-mail yasukunieigy@yasukunishiry.co.jp

## 7. 組織図

2013年9月20日現在



※現状では、エコアクション21の取組範囲に八尾営業所は含まないが、2013年度より活動準備を始め、2014年度に対象範囲に含める予定



# 会社概要

## 11. 許可・登録内容

### ●産業廃棄物収集運搬業許可番号(◎は、積替え保管も含む)

地域	許可番号	有効期限	許可された廃棄物の種類							
			廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	がれき類
大阪府	第02700046450号	平成29年 4月27日	○	○	○		○	○	○	○
大阪市	第6610046450号	平成29年 4月29日	◎	○	○		○	○	○	○
兵庫県	第02801046450号	平成26年 4月29日	○	○	○	○	○	○	○	○
京都府	第02600046450号	平成29年 8月 1日	○	○	○	○	○	○	○	○
奈良県	第02900046450号	平成25年10月 7日	○	○	○		○	○	○	○
愛知県	第02300046450号	平成27年 1月10日	○	○		○				
滋賀県	第02501046450号	平成29年 6月26日	○	○	○	○	○	○	○	○

※奈良県は、9月20現在、許可更新申請中

### ●エコアクション21認証

認証・許諾機関	認証期間	認証・登録番号
一般財団法人持続性推進機構	平成23年10月15日～平成25年10月14日	0004239

### ●計量証明事業登録

登録先	登録年月日	登録番号
大阪府	平成5年11月1日	第281号

### ●プライバシーマーク使用許諾

認証・許諾機関	使用許諾期間	認証番号
一般財団法人関西情報センター	平成24年10月3日～平成26年10月2日	第20000388(04)号

### ●古紙商品化適格事業所認定

	認定機関	認定番号
本社	全国製紙原料商工組合連合会	F-01-044-01

### ●廃棄物再生事業者登録

登録先	登録年月日	次期継続届提出年度	登録番号
大阪府	平成5年3月25日	平成25年度	第54号

※

# 環境目標とその実績・評価

## 1. 環境目標

項目	当初中期目標	基準年度	2011年度目標 (11年7月～12年6月)	2012年度目標 (12年7月～13年6月)	2013年度目標 (13年7月～14年6月)
二酸化炭素排出量の削減	★電力使用量の削減 2011年度からの3年間で 2010年度比5%削減する	2010年度 (10年7月～11年6月) 386,136kWh (本社 286,431kWh)	2010年度比 1%削減 ▲3,862kWh	2010年度比 15%削減 ▲42,965kWh	2010年度比 5%削減 ▲14,322kWh
	★燃料(ガソリン・軽油)使用量の削減 2011年度からの3年間で 2010年度比5%削減する ※ガソリンにはハイオクを含む	2010年度 (10年7月～11年6月) ガソリン 11,431ℓ (本社 10,218ℓ) 軽油 67,837ℓ (本社 65,239ℓ)	2010年度比 1%削減 ガソリン▲114ℓ 軽油 ▲679ℓ	2010年度比 10%削減 ガソリン ▲1,022ℓ 軽油 ▲6,524ℓ	2010年度比 5%削減 ガソリン ▲511ℓ 軽油 ▲3,262ℓ
廃棄物量削減	★RPF化量の増加 2011年度からの3年間で 2010年度比10%増加する	2010年度 (10年7月～11年6月) 25,910kg	2010年度比 5%増加 +1,296kg	2010年度比 8%増加 +2,073kg	2010年度比 10%増加 +2,591kg
	廃棄物排出量の削減 2011年度からの3年間で 2010年度比10%削減する	2010年度 (10年7月～11年6月) 86.4t (本社 58.4t)	2010年度比 5%削減 ▲4.4t	2010年度比 8%削減 ▲6.9t	2010年度比 10%削減 ▲5.8t
水道水量削減	水道水使用量の削減 2011年度からの3年間で 2010年度比15%削減する	2010年度 (10年7月～11年6月) 1,187m <sup>3</sup> (本社 894m <sup>3</sup> )	2010年度比 5%削減 ▲60m <sup>3</sup>	2010年度比 15%削減 ▲134m <sup>3</sup>	2010年度比 10%削減 ▲89m <sup>3</sup>
計量器	計量器の点検と記録 1日1回(始業時)の点検	-	年間のべ603日 本社311日 城東292日	1日1回(始業時) の点検	1日1回(始業時) の点検

### ※活動の対象範囲

	2011年度	2012年度	2013年度
本社	○	○	○
城東営業所	○	×	×
八尾営業所	-	×	活動準備予定

※環境方針に示された「グリーン購入の推進」については、2012年度には、具体的な目標を設定していなかった。

※2012年度の目標のうち、以下の項目は、2011年度の結果を受けて、当初の目標値から変更した。

- ・電力使用量:当初目標、本社3%削減(▲8,593kWh、2010年度比)
- ・燃料使用量:当初目標、本社3%削減(ガソリン▲307ℓ、軽油▲1,957ℓ、2010年度比)
- ・水道水使用量:当初目標、本社8%削減(▲72m<sup>3</sup>、2010年度比)

※2013年度の目標については、2012年度の結果を受けて、変更を検討する。

※計量器の目標値については、各年の休日出勤数に変動があるため、年度末の集計時に計数する。





## ○水道水使用量の削減

### ◆原因

- ・城東営業所からペーラー機を移設する際、火災予防のために現場周辺への散水をおこなった。その時期の使用量が増加した(+30m<sup>3</sup>)。
- ・工事終了後も増加が続いたため、メータのチェックを続けたところ、蛇口等の老朽化により、複数個所で漏水が発生していたことがわかった。

### ◆対応策

- ・漏水していた蛇口等を修理・交換したところ、使用量が削減され、基準年値を下回るようになった。

## ■次年度の取り組みについて

### ○電力使用量の削減

基準年比-15.61%と、目標値の-15%を達成できたため、引き続き次年度の目標値を-15%とする。

### ○燃料使用量の削減

基準年比ガソリン-12.14%、軽油-7.08%と、ガソリンは目標値の-10%を上回ったが、軽油は下回った。この結果を受けて、次年度の目標値はガソリン・軽油とも-10%とする。

### ○RPF化量の増加

目標値は基準年比+8%だったが、基準年比-10.3%という結果になったことを受け、次年度は+5%へ目標を変更する。

### ○水道水使用量の削減

目標値は基準年比-15%だったが、基準年比+8.72%という結果になったことを受け、次年度の目標値は-10%とする。

### ○廃棄物排出量の削減

基準年比-8.82%と、目標値の-8%を上回ったため、引き続き次年度の目標を-8%とする。

### ○計量器の点検

今年度同様、1日1回の点検を励行する。

### ○グリーン購入の推進

備品購入時にグリーン購入適合商品などを選択し、全購入金額の50%が適合商品等となるようにする。

# 主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価及び

## 環境関連法規への違反・訴訟等の有無 ● ● ● ● ● ● ● ●

### 1. 主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価

項目	活動内容	評価	
二酸化炭素排出量削減	電力使用量削減	・不要時に照明を消す。	○
		・機器の空運転をしない。	○
		・エアコン温度を調節する。	△
		・小まめなスイッチング等、機器の使用方法を工夫する。	○
		・更新時にLED照明等の省電力型機器・器具に変える。	△
	燃料使用量削減	・車両の点検整備 (タイヤ空気圧を適正に保つ、エンジンオイル・フィルターを定期的に点検・交換する。)	○
		・エコドライブを徹底する。 (急発進・急加速をしない、空ぶかしをしない、法令速度を守って走行する、アイドリングストップを心掛ける)	○
		・車両の走行距離を可能な限り少なくする(計画的移動)	○
		・計画的に業務を進めてリフトの運転時間を減少する。	○
		・電動リフト(2010年度計3台)・ハイブリッドカー(2010年3月)低燃費エコカー(2011年6月)などを導入した。	○
RPF化量の増加	・古紙を徹底して分別し、RPFの出荷量を増やす。	△	
廃棄物排出量の削減	(焼却)廃棄物の分別を徹底する。	○	
	・使い捨て商品(弁当容器など)の購入を抑制する。	○	
	・廃棄物の再使用、再生利用の用途を探索する。	○	
水道水使用量削減	・水道水を使い終わったら必ず蛇口を閉める。	○	
	・節水コマを入れるなど水道水の無駄な使用をなくす。	○	
	・水道配管からの漏水を定期的に点検する。	○	
	・洗車などを効率的におこなう。	○	
	・雨水の利用法を工夫する。	△	
計量器の点検の励行	・1日1回計量器の点検をおこない、結果を記録に残す。	○	

○:良好、△:不十分、×:未実施

2011年7月～2012年6月

### 2. 関連法規への違反・訴訟等の有無

2012年7月から2013年6月までの間、環境関連法規への違反・訴訟はありません(「法規制等一覧表・遵守評価結果」(13年7月4日作成)中の「遵守評価欄」に詳述)。また、この期間に、外部からの苦情等の受付はありませんでした。なお、関係当局・関連団体等からの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

## 代表者による全体評価と見直しの結果 ● ● ● ● ● ● ● ●

- 目標数値を達成できなかった項目については、環境責任者の提案にもあったように、原因を追究して対策を考え、実施していくように。
- 入荷量の減少により、RPF化できる廃プラ類も減少している現状では、RPF化量の増加は、目標が達成しにくいと思われる。環境責任者の提案のように、できるだけ増加させるよう努力をするとともに、目標の見直しも考えたい。
- 水道水の使用量については、設備の点検を進めるとともに、使用状況についても再度チェックして、目標達成のために努力してほしい。
- 昨年度の活動で、緊急事態への対応訓練が実施されていないと報告があった。今年度は、できるだけ予定通りに訓練を計画し、実施するように。

2013年9月20日

代表取締役 竹内 庸二